

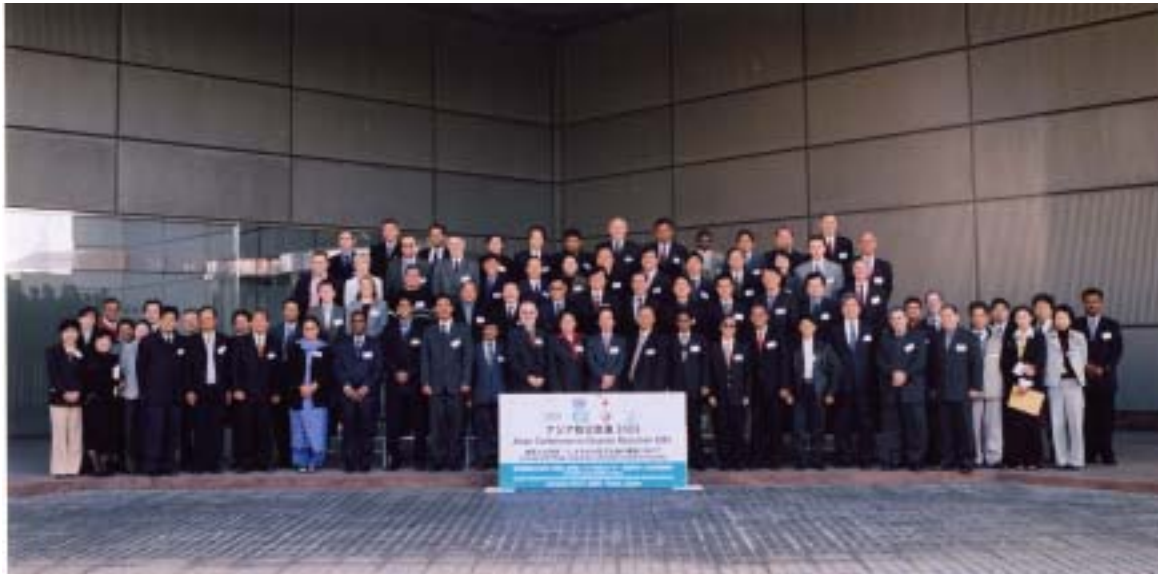


ADRC Highlights Vol.63

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

February 3, 2003

アジア防災会議 2003 を国連、日本政府等と共催 24カ国および26の国際機関の防災専門家が参加



災害が頻発し、複雑化しているアジアにおいては、早急に環境管理、地域開発計画などと連携した総合的な防災対策を講じる必要があります。このため、アジア地域の災害対策のこれまでの成果と残された課題を総括するとともに、21世紀の新たな地域防災戦略の指針を提案することを目的に、アジア防災センターが主催するアジア防災センター国際会議（第5回）、国際防災・人道支援協議会が主催する国際防災・人道支援シンポジウム、国連国際防災戦略(ISDR)事務局と日本政府（内閣府）が主催する国際防災戦略アジア会合を統一のテーマ「地球との共存：しなやかな防災社会の構築に向けて」のもと、アジア各国及び国連をはじめとする多数の国際機関の参加を得て、「アジア防災会議2003」を開催しました。

今回の会議では21世紀において「都市災害への対応」「気候変動が引き起こす災害への対応」に取り組み、課題解決に向けた

- ① 災害による被害を軽減するための教育、メディア、環境、開発、科学技術等の様々な分野との連携
 - ② コミュニティレベルの活動を強化するための地方政府、民間セクター、NGO等多様な推進主体の参画
- など、多様な連携を取りつつ、防災情報強化に向けた国際的な協力体制を構築していくことが必要であることなどが提案されました。

詳しいことは、アジア防災センターの下記のホームページにて公開しております議長サマリーをご参照ください。

http://www.adrc.or.jp/5th/chairperson's_summary_jp.htm

➤ ADRC メンバー国共同プロジェクト2002 □ カンボジア、ラオスとのプロジェクトスタート

アジア防災センターメンバー国会議の場で、新たに2つの2002年度共同プロジェクト開始の調印式が行われました。カンボジア政府における「防災情報システムトレーニング」、およびラオスにおける「防災人材育成プロジェクト」が今年度中に実施されます。ラオスでは2月4日に第1回ワークショップ開始が予定されています。



アジア防災センターでは、メンバー国の防災のための人材育成などを目的に毎年度ごとに3~4件の共同プロジェクトを実施しています。

➤ OCHA 神戸オフィスに新地域アドバイザー着任 □ Terje Skavdal 氏

2000年2月に神戸に開設された国連人道問題調整事務所(OCHA)アジアユニットは、設立以来地域の災害による被害の軽減に積極的に取り組んできました。2年半のあいだアジアユニットの活動を軌道に乗せるために貢献してきた Fen Ming Kan 氏が、昨年秋に国連国際防災戦略ナイロビ事務所へ転勤されたことに伴い、本年1月に後任の Terje Skavdal 氏が着任されました。

If you have comments or requests for this Newsletter, please write to ADRC at the address on the right.

Published by : Asian Disaster Reduction Center (ADRC)
3rd Floor, IHD Bld. 1-5-1, WAKIHAMAKAIGAN-DORI, CHUO-KU, KOBE
651-0073, JAPAN E-mail: editor@adrc.or.jp Phone: +81-78-230-0346